

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 木曜・5校時・金曜・3校時	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語Ⅱ German II		
対象年次 1年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) (木5:K26)(金3:M12)	科目分類	外国語科目(ドイツ語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室 担当教員:目 正勝 /Eメールアドレス:m79sakka@aol.com /研究室:(非常勤講師)			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>授業のねらい: ドイツ語文法の基礎を学習する。平易なドイツ語文による解説と練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。テキストのドイツ語文やその他の記事を通じて、ドイツの地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。</p> <p>授業方法: 前期に引き続いて、テキストに従って進む。現在完了や形容詞の比較表現などを学習した後、関係代名詞、受動態、そして仮定表現まで進む。 教室では、文法の説明のあと、テキストの練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておく必要がある。語形変化は練習を繰り返し繰り返し行う。 テキストの音読やテープによるリスニングも。</p> <p>授業到達目標: 正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。</p>			
授業内容			
<p>全15課のうち、前期に引き続いて、第8から第15課まで。</p> <p>第1回 第8課、完了、比較表現 第2回 第8課、比較表現、練習問題、第9課、話法の助動詞 第3回 第9課、未来形、従属接続詞、練習問題 第4回 第10課、分離動詞、非分離動詞、枠構造 第5回 第10課、zu不定詞、不定詞句、練習問題 第6回 第11課、再帰動詞、再帰代名詞 第7回 第11課、過去分詞、現在分詞、練習問題 第8回 第12課、関係代名詞 第9回 第12課、指示代名詞、練習問題 第10回 第13課、受動態 第11回 第13課、自動詞の受動、練習問題 第12回 第14課、接続法第1式、接続法第2式 第13回 第14課、接続法の用法 第14回 第15課、接続法の補足、練習問題 第15回 全授業のまとめ、定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書: 「文法システム15 — 新改訂版」 西本美彦、Nishimoto Angelika 他著 同学社 独和辞典: 『新アボロン独和辞典』(同学社) 他		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			